

平成 29 年度 茨城統一テスト

採点規準詳細

3 年 第 7 回

◇今回のテストについて採点規準の詳細を示しています。

■国語

◇記述問題の誤字は減点。

◇漢字採点規準…最後にあります。

一 (三)

- ・同趣旨○。
- ・35字以上40字以内であること。
- ・誤字減点。いくつあっても×にしない。
- ・「～から。」文末×。

【模範解答例】

パティシエになるために製菓の専門学校へ進学するのをあきらめてほしいということ。

○の例

- _A父がパート社員になってしまうので、専門学校への進学をあきらめてほしいということ。
- _Bパティシエの専門学校に進学しないで夢をかなえる道を考えてほしいということ。
- _C夢のパティシエになるために製菓の専門学校へ進学するのはあきらめてほしい。
- _D家の経済が苦しくなるので、専門学校への進学をあきらめてくれという言葉。
- _E高校を卒業したら、製菓の専門学校へ行かないで店に就職してほしいということ
⇒「製菓の専門学校へ行かないで」という明白な部分があるので許容とする。

×の例

- ×_A本当に専門学校へ行かないと、パティシエにはなれないのだろうかということ。
- ×_B家の経済状態から考えて、パティシエになるのを断念して欲しいということ。
- ×_C寿司職人のように、修業しながらパティシエになる道を選んでほしいということ。
- ×_D未経験でも働けるケーキ屋さんがあるかどうか探す努力をしてくれということ。

二 (四)

- ・同趣旨○。
- ・40字以上45字以内であること。
- ・誤字減点。いくつあっても×にしない。
- ・二文以上で書かれているもの可。
- ・「～から。」文末×。
- ・「**警句**」・「**論理**」・「**感触**」という三語が用いられていること。順序不問。

【模範解答例】

論理の空隙をつかって読者を驚かし、あざやかな感触を印象づけ、警句らしい姿を実現すること。

○の例

○_A 第一文にオヤツと思う論理的でない文を排列することで警句として印象がはっきりした感触になる。

○_B 三つの文で警句になっているが、奇先法で論理の空隙を作ったことが鮮やかな感触を与えている。

×の例

×_A そこに論理の空隙をつくった排列があざやかな感触を印象づけ、いかにも警句らしい姿を実現した。

→「そこ」表記から書き抜いて使うと意味が不明になる。

×_B 論理の空隙をつくり、読者を驚かせあざやかな感触を印象づけいかにも警句らしい颯爽とした姿。

→「～姿。」終わりが×対象。「姿」が「表現効果」なのではない。

作文採点基準

① 字数

① 8行目 20マス目未満 (159字～101字のもの) ……－2点

② 5行以下 (100字～61字のもの)、字数オーバー ……－5点

③ 3行以下 (60字以下のもの) ……－10点 ⇒ 採点終了

④ 最終行未完成 (尻切れトンボのもの) ……書かれた字数に関係なく、尻切れは－1点。

② 条件・内容 (A→Cの順番で判断する)

A. 条件不備

① テーマ違反 (全くテーマから外れているもの) ……－10点 ⇒ 採点終了

・「四つ目の画像となる『その他の候補』」というテーマの作文であること。「インターネットで交流しているアメリカの中学校に、日本の年中行事やイベントを紹介すること」に関して述べていると判断できれば、とりあえずテーマ違反とはしない。

② 本文引用 (半分程度以上) ……－10点 ⇒ 採点終了

※ 約50%以上の引用であれば－10点する。

※ 本文中からの部分的な引用はよいが、本文からの丸写しではいけない。

※ 自分の考えや感想などを、本文の内容を写して、いかにも自分のもののように書いてあるものは、写しの部分が半分程度以下なら許容とする。

B. 加点条件 (「テーマ違反」ではない作文は必ず一つ以上の項目で加点する)

① 加点項目1 (指定された条件をすべて守っているもの) ……4点

(1) 二段落で書いているもの

・一段落や、三段落以上で書いたものは加点しない。

・一字分下がっていても、その前の行の途中で改行してあれば二段落目とみなす。ただしその場合は「原稿用紙一字下げ違反」とみなして、1点減点する。

(2) 前段に「紹介したい行事・イベント」、後段に「理由」を書いているもの。

・この項目では形式として段落の役割を果たしていればよい。(内容は②③で判断。)

- ・内容が不可の場合でも、形式として段落の役割を果たそうとしていればよい。よって明らかに前段・後段の内容が逆転している場合や、作文全体が「紹介したい行事・イベント」または「理由」のみになっているような極端な例以外は可。

(3)「紹介したい行事・イベント」とその「理由」を関連させて書いているもの、テーマに沿って書いているもの。

- ・テーマおよび前段で述べた「紹介したい行事・イベント」と矛盾したり、全く関係のない「理由」を後段で述べているものは加点しない。
- ・「紹介したい行事・イベント」を挙げていても、「年中行事」ではないと判断できるものであれば加点しない。
- ・具体的な「年中行事」を挙げていても、「画像」を用いて紹介できる内容であること。
- ・「年中行事」のうち、「十二か月それぞれの代表的な行事」「画像①～③と内容的に種類の異なるもの」「新しい祭り、外国からきた行事」のいずれかに該当する具体例であること。
- ・「インターネットで交流するアメリカの中学校」に紹介するという前提で考えていること。

●(1)～(3)をすべて満たすもののみ加点する。

② 加点項目 2 (「紹介したい行事・イベント」を書いているもの) …… 3 点

- ・「紹介したい行事・イベント」について具体的に述べていけば加点する。
- ・一言でも具体例を挙げていけば可。
- ・「紹介したい行事・イベント」が無く、ただ単に自分の考えや感想だけでまとめているものは加点しない。

③ 加点項目 3 (「理由」を書いているもの) …… 3 点

- ・「紹介したい行事・イベント」について、「理由」として考えを述べていけばとりあえず加点する。
- ・「紹介したい行事・イベント」についての単なる事例の紹介や感想だけのものは加点しない。

★ ①～③の条件が満たされていけば、とりあえず項目ごとに加点する。そこから「内容不備」の項目に当てはまる場合は減点(−2)する。

C. 内容不備(加点した項目が一つの場合は使用しない。①②は加点していない項目には使用不可。)

① 物足りない内容

- ・「紹介したい行事・イベント」があるにはあるが、どのようなものか具体性のないもの、内容が表面的で浅いもの、全体的に漠然としたもの等。

② 物足りない理由

- ・「理由」の裏付けとなる背景が不明確なもの、具体性や説得力に欠けるもの。
- ・主観的な肯定・批判に偏り、客観的根拠を示していないもの。
- ・ひとことだけで根拠に欠けるもの等、内容が表面的で浅いもの。

③ ややずれた内容・理由

- ・求められた内容以外のむだな部分が多く、全体に中心点の外れた感がある等、全体の構成にやや難を感じるもの。
- ・前段と後段の分量的なバランスが悪いもの、前段と後段のどちらの内容もあいまいで、やや不十分なもの。
- ・「紹介したい行事・イベント」と「理由」のつながりが薄いもの。

★ 内容不備の減点上限は−2点。したがって①～③の複数の項目で減点しても、1回(−2点)の減点となる。

■数学

2(3) $x = -3 + 2\sqrt{3}$, $x = -3 - 2\sqrt{3}$ など○

3(1) $\angle AEB = 38^\circ$ など○

3(3) $p = 12$ 分の5 など○

4(1) $(x = 3, y = 3)$ も○

■英語

1(4)① 四千二十 ○

3(3)① gave, put ○

4(2) it → that ○

What's the festival ○

5(2) ☆減点法：文頭の小文字書き出し・文中の大文字または小文字の誤り・符号の誤用等は1か所に限り減点（－2点）。2か所以上あるものは×。ピリオドも減点。

■社会

◇漢字指定のないものはひらがな書き○

◇漢字・字数指定のあるものは、指定外×

1(5)

◇「沿岸国が資源を利用できる水域」や「領海の外側で、沿岸から200海里以内の水域」などが読み取れれば○とした。

2(2)理由

◇「株式」「資金」の語がないものは×。

◇「少しの株式で資金が集められる」ことや「多くの人から資金が集められる」ことなどが読み取れれば○とした。

3(5)理由

◇「イスラム教徒」は「豚肉を食べない」ことが読み取れれば○とした。

4(5)目的

◇「中央集権国家をつくる」ことが読み取れれば○とした。

■理科

◇漢字指定のないものはひらがな書き○

2(1)② 指定語「白色の固体」, 「水」を用いて、「水に溶けた量が炭酸水素ナトリウムよりも白色の固体のほうが多い」ことが読み取れれば○とした。

2(3)い 北太平洋○

4(3)① 中和反応 ○

4(3)②あ 食塩, NaCl ○

4(3)②い H_2O ○

5(1)② 「地球が北極側から見て反時計回りに自転している」ことが読み取れば○とした。

6(1) 倒立実像，倒立の実像○

6(4)大きさ 「像の大きさが実物よりも大きくなった」ことが読み取れば○とした。

(2)

医 } × 失

(1)

減

× 点が延長線上にない
↑ のエリアの

× 良・良 「ノ」の向き逆・離れ
× 良・良 「ノ」の角度なし・水平

師

(3)

慣 } × 母
× 見